

なのはな ちいさな かぞく展 てん かいき 会期 2017年3月30日(木)~4月25日(火) ねん がつ にち もく がつ にち か

今年で4回目となるなのはな展。今回の作品展名は「ちいさな・かぞく展」と呼ぼうと決めました。また今回はテーマごとではなく利用者さんごとに作品を並べています。

毎日みんなが通い、顔を合わせ一緒に生活するひととき。利用者さんも意識しているわけではないでしょうが、きっとみなさんをゆるやかに繋げている何かがあるのだと思います。

だれがお父さんで、だれがお兄さんや妹なのか、個々の作品を鑑賞しながらみなさんが感じる「ちいさな・かぞく」を楽しんでいただけたと思います。



退職員よりあいさつです

このたび法人の異動により、紫野授産所を離れて「大原野の杜」へ転動することになりました。実は私自身、もう少し長く授産所にいると思っていましたのでびっくりです。

25年度末に下請の取引業者が倒産し、作業が大幅に減った状態で引き継ぎました。収入が減り工賃を下げなければならなくなり、利用者みなさまにはご心配ご迷惑をおかけしました。また、26年度には耐震・改修工事を行い寒い中、外に設置した仮設のトイレを利用していただくというご不便をおかけしました。何が何でもかわからないまま1年が過ぎていった印象です。利用者みなさまの現在の生活のこと、将来の生活のこと、作業のこと等これから一緒に少しずつ考えていこうと思っ進めてきましたので、やり残したことがたくさんあります。27年度～28年度は下請作業が増え、製菓もお客が増えました。工賃も少しずつですが増えていると思います。菜の花も利用者が増え、活気あふれる毎日、それぞれの生産活動も軌道に乗ってきました。

授産所とみなさまのこれからの発展を期待しています。

法人内の転動ですので、みなさまとはまたお会いすることがあると思います。今後ともよろしくお願い申し上げます。3年間いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。



前所長 阪田 理恵



平成23年4月より6年間、生活介護事業 菜の花に携わらせていただきました。

利用者さんと共に菜の花の花言葉でもある「小さなシアワセ」。

できることできないこと、シアワセの形も人それぞれ。

寄り添い、心通わせ利用者さんと共に創造し形にしていくことが支援の仕事であると感じます。見える形として『なのはな雑貨店』や今年4回目の『なのはな・小さな・・・』展覧会を通じ、利用者さんの作品をお多くの方に手にしていただくことができたことは大きな喜びでした。今春からは同分野のコスモスへ異動になります。これからも授産所で過ごした日々を活力として参ります。ありがとうございました。

前田 さえ子

惜別

4年間お世話になりました桂川看護師は、自己都合で3月末でご退職されました。



新任職員よりあいさつです



4月から所長としてお世話になっております井上裕希と申します。

15年近く当法人に在籍しておりますが、そのほとんどを居宅支援事業所で業務してまいりました。地域で暮らすご利用者の支援をする、という点では、紫野授産所と同じ視点だと思いますが、業務内容は異なる点が大半で、慣れるまでしばらくかかりそうです。心もとない運営で、ご利用者のみなさまにはご迷惑をおかけいたして申し訳ありません。少しでも早く業務を覚え、よりよい事業所となるよう奮闘いたしますので、どうかご指導のほどよろしくお願いいたします。

所長 井上 裕希

平成29年度より京都総合福祉協会に正規職員として採用され、紫野障害者授産所の菜の花に配属されました中澤礼子と申します。

以前は同法人の就労移行で補助職員として支援に携わらせて頂きました。知識もノウハウも全くの初心者で皆さまには多数ご迷惑をおかけすることと思いますが利用者様、またご家族様に寄り添え信頼される支援者になれるよう精一杯努めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

中澤 礼子



みなさまこんにちは。

4月末より看護師として、勤務させて頂く事になりました森口と申します。月に一回ではありますが授産所に通所してこられるみな様の健康管理のお手伝いを微力ながらさせて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

森口 はつ美





○ 編集後記 ○

3月・4月は別れと出会いの季節です。つぎなる新しい勤務先へ赴かれた方々とお別れもつかの間、新しく当事業所へ来られた方々との新しい出会いがありました。しかし、新年度早々に法人のシステムが機能を停止するということが起こりました。そのためこの“たより”に寄せて頂いた一部原稿を消失し、発行を大幅に遅らせてしまうことになりました。発行が遅くなりましたことを、お詫び申し上げます。しかしながら関係者皆様の懸命の努力の結果、ここによりやく発行できますことを深く感謝申し上げます。“雨降って地固まる”の言葉ではありませんが、雨のあとは晴の天気 comes。今後は順風満帆に事が運びますように祈りたいものです。

今回も授産所の様子が、みなさんに伝わるよう願っています。

<山本>



「授産所だより」H29. 春号

発行責任者：社会福祉法人京都総合福祉協会 京都市紫野障害者授産所 井上 裕希

発行日：2017年 5月 1日

〒603-8214 京都市北区紫野雲林院町 44-1 tel075-492-8821 fax075-491-2138

URL <http://www.sogofukushi.jp>

E-mail: murasakinou@sogofukushi.jp